

# macromedia® COLD FUSION™ MX 7

## より簡単に、素早くパワフルなインターネットアプリケーションを実現

インターネットアプリケーションの開発・デプロイを、どのソリューションより簡単かつ高速にできるのがアドビの Macromedia ColdFusion MX 7 です。ColdFusion MX 7 を利用すれば、高品質なビジネスレポート生成や、魅力的なクロスプラットフォーム対応リッチインターネットアプリケーション (RIA) の配信、印刷可能ドキュメントの生成、リッチフォームの生成、全文検索、グラフ生成などのパワフルな機能を容易にアプリケーションに実装できます。業界標準の J2EE アプリケーションサーバ上でネイティブに稼働する ColdFusion MX 7 は、他の Java™ アプリケーションとスムーズに統合できるだけでなく、エンタープライズのデータおよびアプリケーションとの接続、Web サービスの作成と利用、SMS を介した IM クライアントやモバイルデバイスとの通信も容易に実現します。

### 卓越したユーザ体験を提供

優れた操作性のアプリケーションを提供することで、エンドユーザの生産性が向上します。

**印刷対応 Web コンテンツ** — 最新のパワフルな CFDOCUMENT 機能を利用すれば、Web コンテンツを体裁の整った印刷可能な Adobe PDF や FlashPaper™ 2 文書に変換し、エンドユーザはこれらを容易に印刷、電子メールで送信、あるいは保存することができます。さらに、既存アプリケーションには、わずか数行のコードを追加するだけで印刷機能を実装できます。

**構造化されたビジネスレポート** — 反復を含む構造化された高品質なビジネスレポートを容易にデザインし、これらを Web アプリケーションの一部としてダイナミックに生成できます。PDF や Excel などの一般的なフォーマットを使って、体裁の整ったデータをエンドユーザに分かりやすく提示し、印刷あるいは電子メールで送信することができます。

**Adobe Flex 2 との連携** — あらゆるプラットフォームに幅広く配信できる、インタラクティブで表現力豊かな Web アプリケーションを容易に作成できます。ColdFusion Extensions for Flex Builder 2 と ColdFusion の最新機能があれば、デスクトップアプリケーションの優れた操作性・柔軟性と、従来の Web アプリケーションの広範な配信性を兼ね備えた、データ駆動型のリッチインターネットアプリケーションが容易に開発できます。

### 素早く習得、開発、デプロイ

優れた作業生産性を素早く発揮でき、しかもアプリケーションをより迅速に J2EE 環境へ導入できるので、インターネットアプリケーションの開発コストが抑えられます。

**容易に習得、短期間で開発** — ColdFusion MX 7 には、数々のパワフルで拡張された新しい CFML (ColdFusion Markup Language) タグが用意されています。HTML の分かりやすさをヒントに開発された ColdFusion のスクリプト言語は、複雑な処理もシンプルで直感的なタグにカプセル化されているので、容易に習得して、すぐに開発をはじめることができます。

**オブジェクト指向のコンポーネントアーキテクチャ** — CFC (ColdFusion コンポーネント) を利用すれば、ColdFusion が提供する迅速な開発性に加え、コードの再利用性やカプセル化といったオブジェクト指向

言語の長所も活かします。SOAP Web サービスの作成と利用、ビジネスロジックとプレゼンテーション層の分離、Flex アプリケーションへのデータ供給などのすべてが驚くほど短時間で実現できます。

**高性能な Java アプリケーションをデプロイ** — 標準仕様に基づく J2EE アーキテクチャを採用する ColdFusion MX 7 は、J2EE プラットフォームのパワーを最大限に活用できます。ページのコンパイル、データベースのコネクションプーリング、データキャッシングなどを提供する ColdFusion MX 7 は、IBM® WebSphere や BEA WebLogic といった業界をリードする J2EE サーバ上で稼働する、高性能で拡張性に優れたソリューションです。

### 次世代のアプリケーションを開発

SMS テキストメッセージングを使った SMS 対応携帯電話との通信や、Lotus® Sametime や XMPP (現在の主要な IM 規格) を使った IM との通信、またはその他のインターネットプロトコルを利用して、HTTP の枠を超えた先進的なインターフェイスを開発できます。

**インスタントメッセージング (IM)** — ユーザのオンライン状況確認や友人リストなど、IM のすべてのサービスにアクセスできる IM 対応アプリケーションを容易に開発できます。Lotus Sametime、Google、XMPP にネイティブに接続できるだけでなく、その他の一般的な IM テクノロジーに接続することや、これらのテクノロジーを拡張することも可能です。

**SMS テキストメッセージング** — 携帯デバイスの AT&T 認定 SMS (Short Message Service) テキストメッセージングを利用してアクセスできる、次世代のアプリケーションも開発できます。SMS を使ったアプリケーションの配信はデスクトップ PC にとどまらず、エンドユーザに真のモバイル体験を提供できます。

**非同期処理** — 時間のかかるタスクを単独のスレッドとして処理することで、複雑なアプリケーションのユーザ体験が飛躍的に向上します。CFML イベントゲートウェイによって、アプリケーション内の別のタスクに移る際に、時間のかかる処理の終了を待つ必要がなくなります。



### 主な新機能

- 構造化されたビジネスレポート
- PDF 文書の生成
- Flex 2 との連携
- 高品質なリッチフォーム
- エンタープライズマネージャ
- SMS テキストメッセージング
- インスタントメッセージング
- J2EE へのパッケージ化とデプロイメント

## 必要システム構成

### Windows® (スタンダード版、エンタープライズ版共通)

- Intel® Pentium® II クラス以上の 32 ビットプロセッサ
- 512MB 以上の空きメモリ
- 500MB 以上のハードディスク空き容量
- Windows 2003 Web Edition / 2003 Standard Edition / 2003 Enterprise Edition (SP1 または R2)
- Windows 2000 Advanced Server / 2000 Datacenter Server / Windows 2000 Server (SP3 以上)
- Windows 2000 Professional (SP3 以上) [1]
- Windows XP Professional / XP Home [1]

### Linux® (スタンダード版、エンタープライズ版共通)

- Intel Pentium II クラス以上の 32 ビットプロセッサ
- 512MB 以上の空きメモリ
- 500MB 以上のハードディスク空き容量
- Red Hat® Linux AS & ES 3.0 / 4.0
- SuSE Linux Enterprise Server 8 / 9
- TurboLinux 8 Server (日本語版のみ)

### UNIX® (エンタープライズ版のみ)

- SPARC®, POWER/3 プロセッサ
- 512MB 以上の空きメモリ
- 500MB 以上のハードディスク空き容量
- Sun® Solaris® 8 / 9 / 10
- IBM® AIX® 5L / 5.1 / 5.3 [2]

### Macintosh (スタンダード版、エンタープライズ版共通)

- PowerPC
- 512MB 以上の空きメモリ
- 500MB 以上のハードディスク空き容量
- Apple Mac OS X 10.3.9 / 10.4.2 / 10.4.3

### サポート対象アプリケーションサーバ

- Macromedia JRun™ 4 (アップデータ 4 以上)
- IBM WebSphere Application Server バージョン 4 / 5.0 / 5.0.2 / 5.1
- IBM WebSphere Application Server Network Deployment バージョン 5.0 / 5.0.2 / 5.1
- IBM WebSphere Application Server for Developers 5.0
- BEA WebLogic Server 7 / 8.1
- Oracle Application Server 10g

必要システム構成と推奨環境についての詳細は次のアドレスをご覧ください。

<http://www.adobe.com/jp/products/coldfusion/productinfo/systemreqs/>

[1] 開発環境としての使用のみを推奨

[2] WebSphere アプリケーションサーバを利用する場合に限り AIX をサポート

## 卓越したユーザ体験

構造化されたビジネスレポート — ColdFusion に統合されたビジネスレポート機能は、高品質な構造化されたビジネスレポートを提供します。エンドユーザは、これまでにない分かりやすい書式のレポートを通じて、重要なビジネスデータにアクセスすることができます。

**Flex 2 との連携** — 豊かなユーザ体験を提供する Flex 2 と優れた生産性を誇る ColdFusion MX 7 は、容易に素早くリッチインターネットアプリケーションを開発する最良の組み合わせです。ColdFusion Extensions for Flex Builder 2 のウィザードは、簡単な操作で、完結したデータ連動 RIA を生成することができます。また、開発者が Flex から ColdFusion コンポーネントへアクセスできる、サーバサイドの機能も用意されています。

**印刷対応 Web コンテンツ** — 既存の HTML コンテンツを Adobe PDF などのフォーマットへ動的に変換し、印刷品質で出力することができます。出力結果は、ブラウザ上で閲覧するほか、ディスクに保存したり、電子メールで送信することが可能です。

**リッチフォーム** — 新しい、リッチな Adobe Flash® フォームや XML フォーム機能を利用すれば、アクセシビリティに優れた高品質なフォームをわずか数分で作成できます。また、複数のステップを必要とする複雑なフォームでも、使い慣れた CFML タグを使って簡単に作成し、スキンを用いてフォームの外観をアプリケーション単位で素早く変更することもできます。

**グラフ機能** — アニメーション効果や色、ラベルの設定など、200 種類以上の属性を自由に調整して、見栄えの良い高品質なグラフを生成できます。

**全文検索** — 最新バージョンの Verity 全文検索エンジンが提供する、階層的なカテゴリ検索、スペル修正候補、検索結果のハイライト、検索精度の向上などの先進的な検索機能が利用できます。

## 柔軟なデプロイメント

**エンタープライズマネージャ** — 複数のサーバインスタンスを単一のマシン上に容易に作成できます。物理的なサーバを追加するためのハードウェアやソフトウェアコストをかけることなく、可用性、安全性、パフォーマンスに優れたアプリケーションを実現できます。

**J2EE パッケージのデプロイ** — これまでにない簡単に、ColdFusion アプリケーションを J2EE の本稼働環境へデプロイできるようになりました。アプリケーションと ColdFusion ランタイム全体を標準的な Java アーカイブ (EAR または WAR ファイル) としてデプロイできます。

**ソースなしでのデプロイ** — ColdFusion アプリケーションを J2EE アーカイブとしてパッケージ化する際には、暗号化されていない CFML ソースを含めないように設定し、知的財産を保護しながらアプリケーションを再配布することもできます。

**管理者用 API** — データソースの管理など、従来は ColdFusion アドミニストレータを操作しなければならなかった管理タスクをプログラミング制御することができます。

## 開発言語の強化

**アプリケーションイベントの処理** — アプリケーションセッション、リクエストの開始や終了を検知して、これらのイベントに応じた処理を実行できるようになりました。

**フォーム検証機能の強化** — エンドユーザが入力したデータを、フォームのフィールド単位、ブラウザからの送信時、サーバ上、あるいはこれらの組み合わせにおいて、より強力に検証できます。

**NT ドメイン認証の統合** — ColdFusion のログイン用タグは、Microsoft® Windows NT ドメインのユーザを直接認証できるようになりました。

**プラグイン形式の強力な暗号化機能** — 新たに Java のセキュリティモデルを採用しているため、一層容易にサードパーティ製セキュリティ製品と統合できます。

**Web サービスのサポート強化** — Web サービス関連の細かな機能が強化され、アプリケーションから SOAP ヘッダのすべての情報にアクセスすることや、WSDL の作成をより詳細に制御することなどができるようになりました。また、WS-I にも対応しています。

## 次世代アプリケーションの開発

**イベントゲートウェイ** — さまざまなネットワークプロトコルと通信できるゲートウェイアプリケーションを開発できます。既製のゲートウェイを利用するか、新たなゲートウェイを素早く作成して、さまざまなネットワークプロトコルと通信できるゲートウェイアプリケーションを開発できます。

**非同期 CFML ゲートウェイ** — 複数のアプリケーションタスクや時間のかかるタスクを独自のスレッドで処理することで、エンドユーザに提供するパフォーマンスと機能が向上します。

**SMS ゲートウェイ** — SMS (AT&T 認定) 対応携帯電話と通信することができます。ColdFusion MX 7 は、すでに AT&T の認定を受けています。

**IM ゲートウェイ** — Lotus Sametime IM や Google、インスタントメッセージングシステムの標準プロトコルとして注目を集める Jabber XMPP IM クライアントと通信することができます。

**拡張可能なゲートウェイアーキテクチャ** — 新たなイベントゲートウェイを作成すれば、あらゆる最新プロトコルからのイベントにも、ColdFusion アプリケーションを応答させることができます。



アドビ システムズ 株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2  
ゲートシティ大崎 イーストタワー  
[www.adobe.com/jp](http://www.adobe.com/jp)

Adobe Systems Incorporated

345 Park Avenue  
San Jose, CA 95110-2704  
USA

[www.adobe.com](http://www.adobe.com)

Adobe, Adobe ロゴ, ColdFusion, Flash, Flex, Flex Builder, JRun, Macromedia, および "Better by Adobe" は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。Mac および Macintosh は、米国 Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国で登録された商標です。Intel および Pentium は、米国 Intel Corporation またはその子会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。IBM および AIX は、米国 International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国 およびその他の国における登録商標または商標です。RedHat は、米国 Red Hat, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。SPARC 商標は、ライセンス契約に基づいて使用されています。SPARC は、米国 SPARC International, Inc. の登録商標または商標です。SPARC 商標の付いた製品は、米国 Sun Microsystems, Inc. が開発したアーキテクチャをベースとしています。Sun および Solaris は、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Linux は、Linus Torvalds 氏が所有する登録商標です。UNIX は、米国 The Open Group の登録商標です。その他のすべての商標は、それぞれの権利所有者の所有物です。

© 2006 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan. ASJST636 1/07